

令和6年度栃木県大学地域連携活動支援事業

# 文化交流の交差点「栃木」 の起源を縄文時代に探るVI



國學院大學栃木短期大学

# 令和6年度の活動

- 北寺遺跡発掘調査
- 縄文まつり
- スキルアップ研修

8月19日～23日

8月24日

(埼玉県立歴史と民俗の博物館)

- 学習講座 (第1、2講)

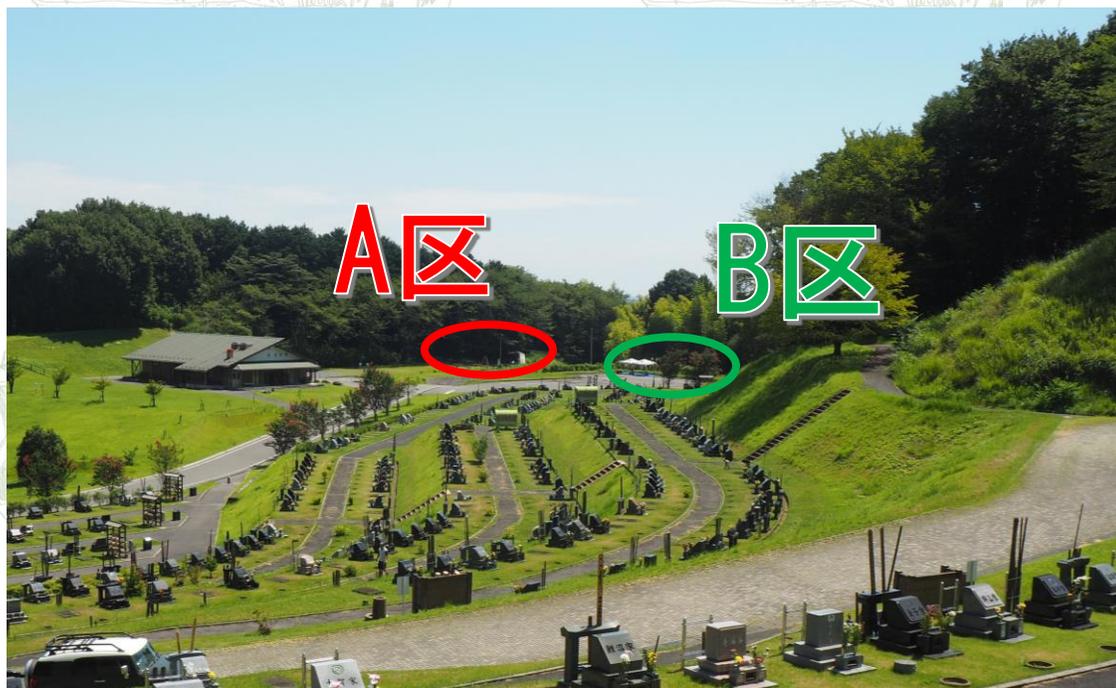
9月28日

10月6日

# 北寺遺跡概要

- 栃木市都賀町の聖地公園南端部に位置する縄文時代早期後半(約7500年前)の遺跡
- 湧水点を取り囲む位置にあたり、縄文時代の狩人たちが陥穴(おとしあな)を設けたり、狩猟キャンプを営んだ場所と推定される。
- 今年度が初の調査
- 栃木市内では早期の遺跡は3ヶ所確認されており、縄文時代では最も古い段階の遺跡である。

# 北寺遺跡の位置



調査区的位置（北西から撮影）



上空からみた遺跡の位置

# 調査区的位置と遺跡の推定範囲

遺跡の推定範囲

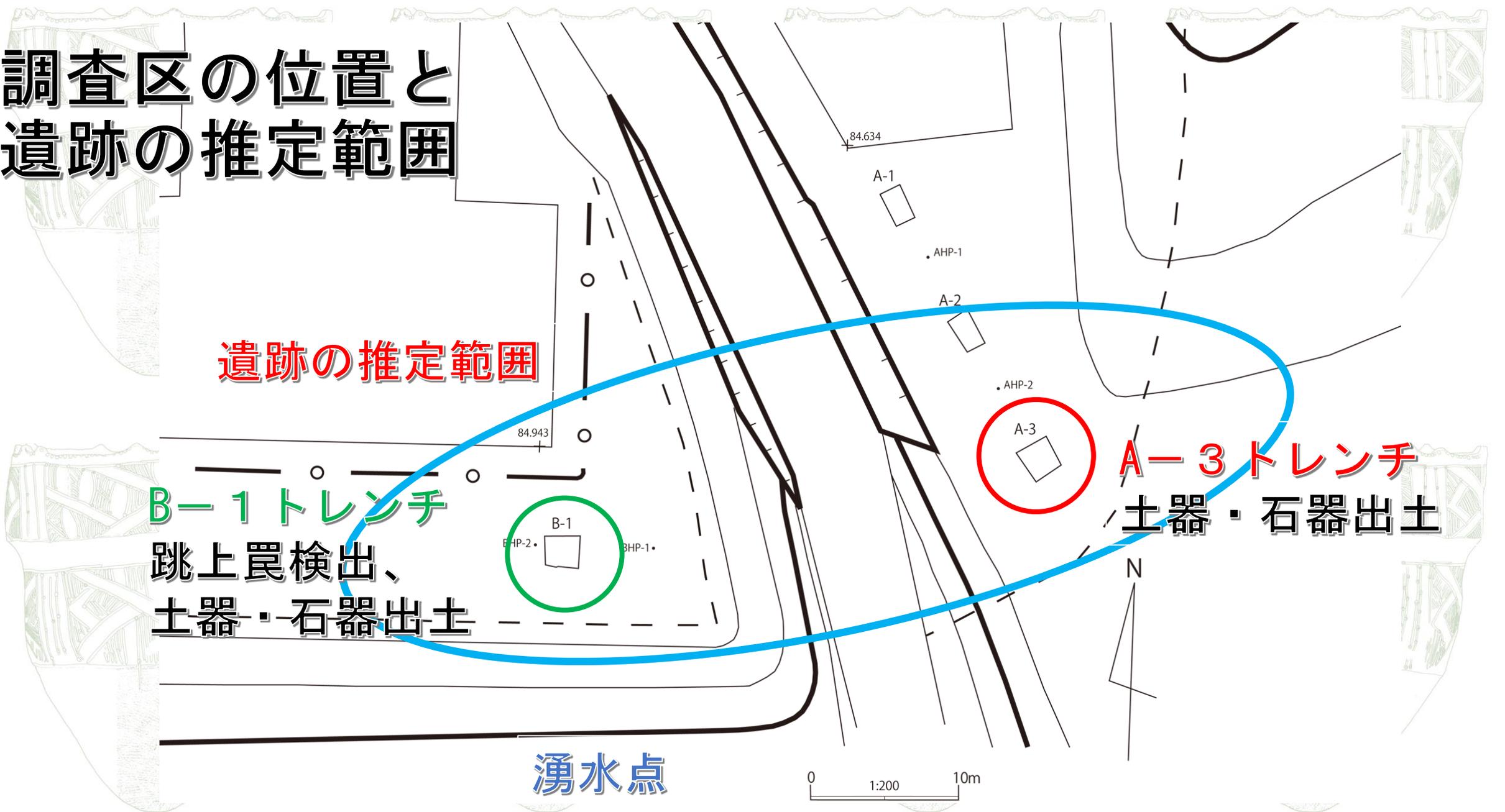
B-1 トレンチ  
跳上罫検出、  
土器・石器出土

A-3 トレンチ  
土器・石器出土

湧水点



0 1:200 10m



# 今年度の調査について

8月19日～8月23日

- これまでに縄文時代早期後葉の遺物が採集されているので、遺跡の範囲を確認するための試掘調査を実施した。
- 南側からの進入路の東西に試掘トレンチを設定し、発掘を行った（A区：3ヶ所、B区：1ヶ所）。
- A-1トレンチ、B-1トレンチから縄文早期後葉の土器、石器が出土した。
- B-1トレンチでは、跳上罫（はねあげわな）の柱穴と推定される遺構が検出された。



発掘調査の参加者

# 発掘調査のようす



A-1 トレンチの調査



B-1 トレンチの調査



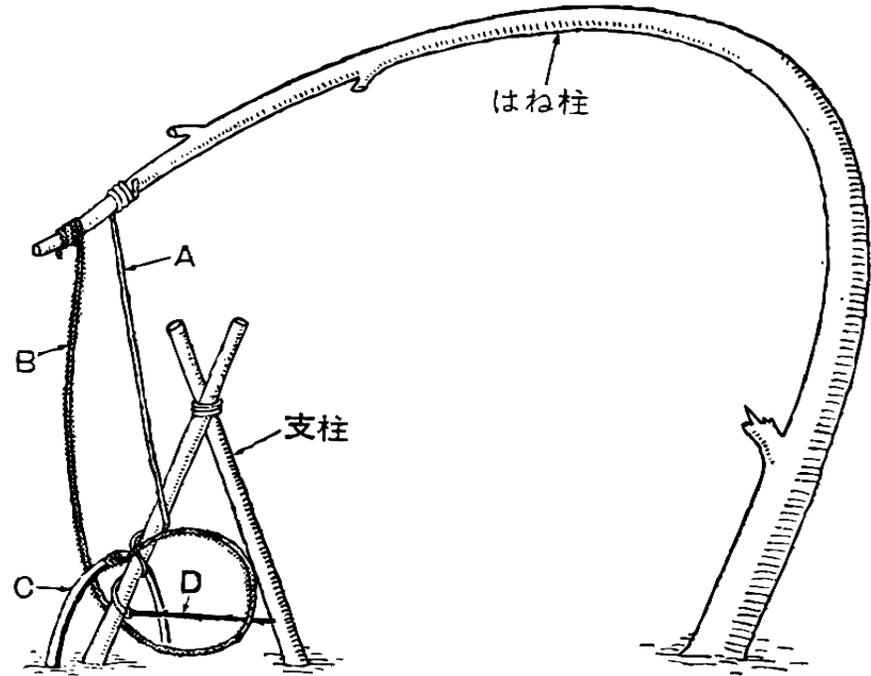
A-1 トレンチの測定のようす



B-1 トレンチの測定のようす

# 検出された遺構

- B区にて縄文時代早期後半のピットを複数検出
- 跳上罝猟が行われていた可能性がある



ニューギニア・アヤニ族の跳上罝 (本多勝一1964)

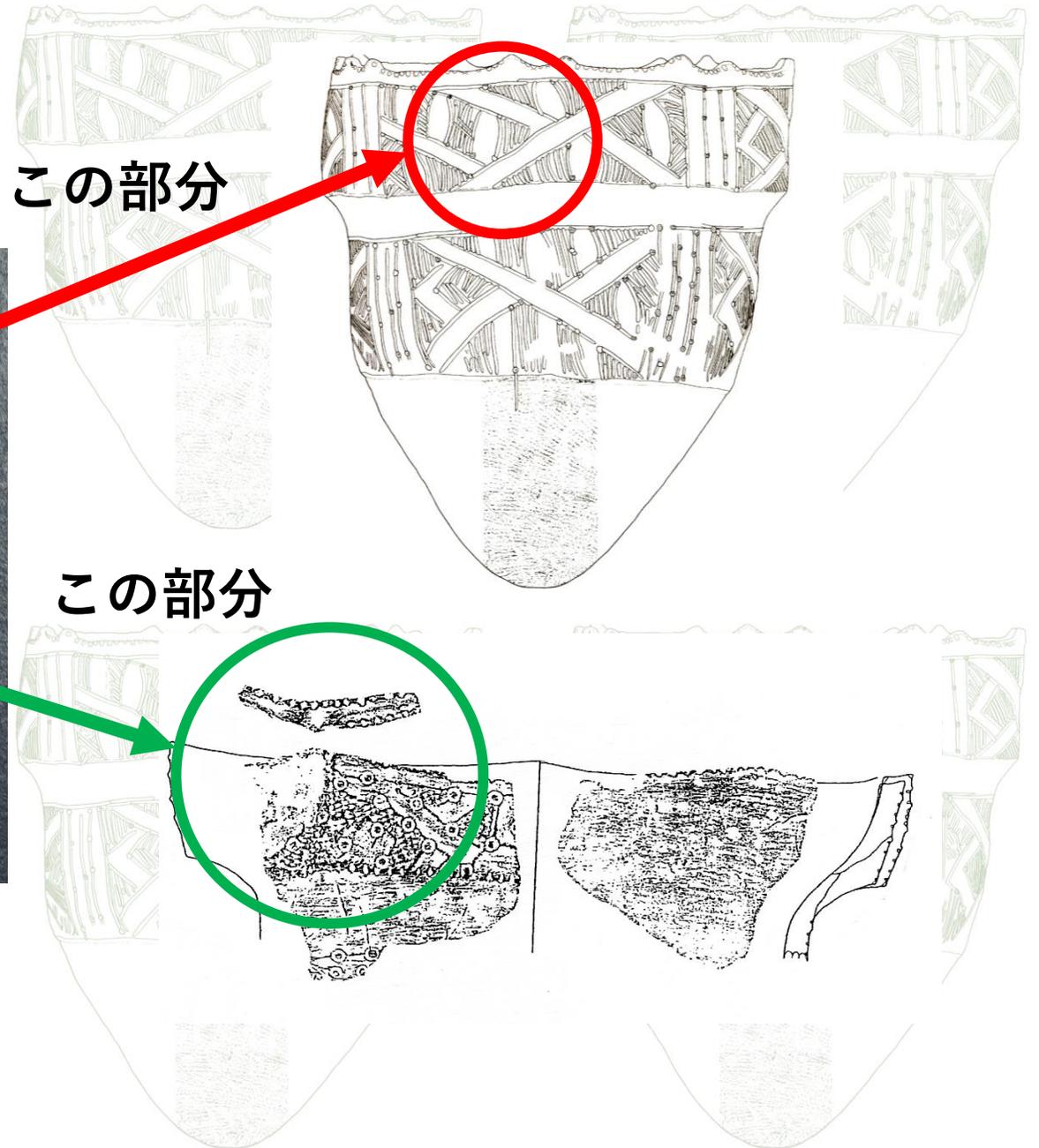
# 出土した遺物



縄文早期後葉の土器（鶺ヶ島台式）

この部分

この部分



# 縄文まつり①

- 中根八幡神社境内で実施
- 縄文文化の普及活動
- 地域住民との親睦をはかる
- 中根八幡遺跡の見学



縄文なべ

なかね 縄文まつり

8月24日(土) 10時～15時



中根八幡遺跡の遺物展示

縄文なべ試食・縄文クッキー作り・石器で料理!

縄文の音体験 ♪ 石や角をたたいてリズム演奏



問い合わせ  
國學院大學栃木短期大学  
日本文化学科  
日本史フィールド  
0282-22-5511 (代)

場所：栃木市藤岡町中根330 中根八幡神社境内

中根八幡遺跡の位置や昨年の発掘成果についてはホームページをご覧ください。  
<https://www.kokugakuintochigi.ac.jp/tandai/>

主催：國學院大學栃木短期大学

協力：中根地区・栃木市教育委員会



縄文なべを楽しむ参加者

# 縄文まつり②

- 人間教育学科（子ども教育フィールド）とのコラボで実施



縄文おどり



縄文の音体験

# 広報活動

- 新聞に掲載されました。（東京新聞、下野新聞）
- 栃木ケーブルテレビで縄文まつりの様子が取り上げられました。
- FMくらはら857（栃木市のコミュニティFM放送局）に出演しました。



# スキルアップ研修 9月28日

## 埼玉県立歴史と民俗の博物館を見学



# 学習講座

## 「栃木の縄文文化をもっと知ろう」



**学習講座「栃木の縄文文化をもっと知ろう！」**

◇縄文時代早期の文化について理解するための、考古学研究者による専門講座です。

第1講「関東地方の縄文早期の土器」 **中村 信博** (茂木町教育委員会)

第2講「北関東の早期の土器とヒトの動きー群馬県を中心にー」 **文挾 健太郎** (藤岡市教育委員会)

日時: **令和6年10月6日(日) 13:00~16:00**

会場: きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)

募集人数: 30人 (先着順)

第3講「栃木の縄文時代が始まる頃」 **芹澤 清八** (シン技術コンサル技術顧問)

日時: **令和6年11月9日(土) 13:00~14:30**

会場: きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)

募集人数: 30人 (先着順)

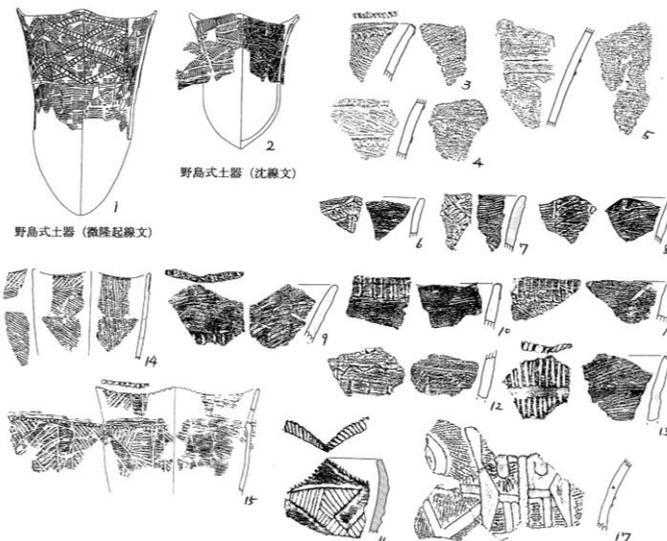


# 学習講座（第1講） 10月6日

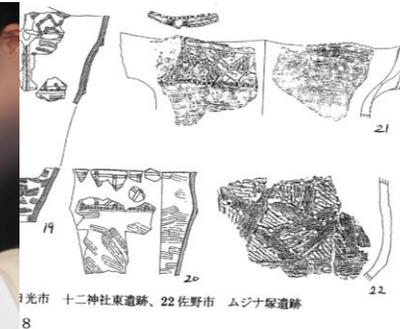
## 「関東地方の縄文早期の土器」

中村信博氏（茂木町教育委員会）

- ・ 関東地方周辺の縄文時代早期の土器の型式、変遷について学ぶことができた。
- ・ 栃木県で出土した特徴的な石器を見せていただきました。



3～5茂木町 登谷遺跡、6～13佐野市 黒袴台遺跡、14那須町 木下遺跡  
15小山市 治松遺跡、16上三川町 磯岡遺跡、17鹿沼市 津村遺跡



# 学習講座（第2講） 10月6日

## 「北関東の早期の土器とヒトの動き—群馬県を中心に—」

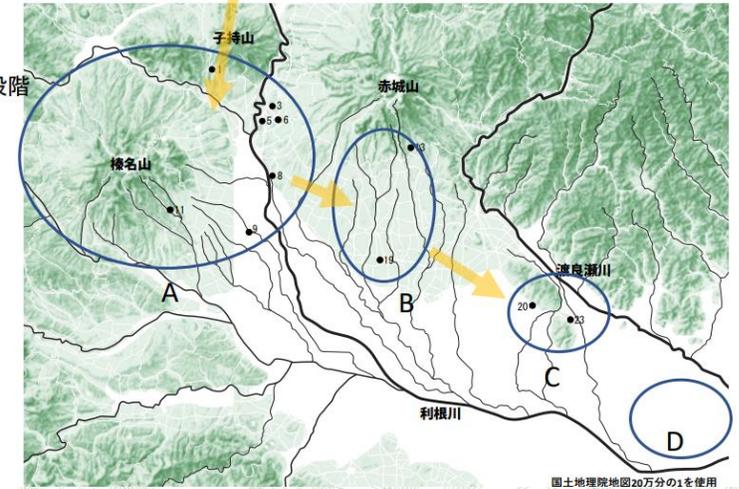
文挟健太郎氏（藤岡市教育委員会）

- ・ 縄文時代早期は人口がとても少なかった。
- ・ 遺構はほとんど検出されておらず、規模も小さい。
- ・ 短期的な移動・非定住的な生活様式が想定されていることがわかった。



I 期

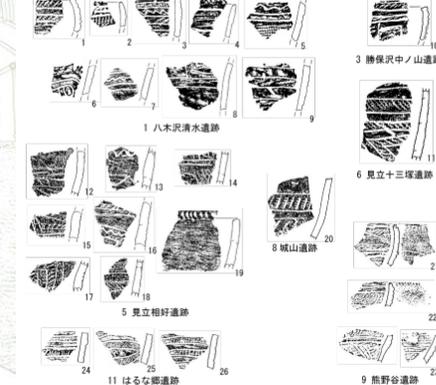
田戸上層式古段階  
約9200ca I BP



国土地理院地図20万分の1を使用

I 期

Aグループ



Bグループ

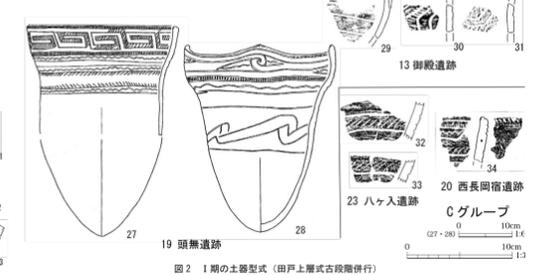


図2 I期の土器型式（田戸上層式古段階併行）

# 今後の予定

## ・シンポジウム

「中根八幡遺跡の土器から見た文化交流  
— 渡良瀬川流域の縄文時代後・晩期土器の様相 —」 11月2日

## ・学習講座（第3講）

- ・ワークショップ（耳飾りづくり）
- ・ワークショップ（縄文グッズづくり）
- ・ワークショップ（石鏃づくり）
- ・ワークショップ（縄文グッズづくり）

11月9日

10月12日

10月26日

11月9日

11月16日

栃木の縄文時代をもっと知ろう！  
(シンポジウム)  
「中根八幡遺跡の土器から見た文化交流  
— 渡良瀬川流域の縄文時代後・晩期土器の様相 —」

第1部 基調報告

「土器から文化交流を探る—中根八幡遺跡の土器を中心に—」  
中村耕作 (国立歴史民俗博物館准教授)

「渡良瀬川流域の後・晩期の土器と土版・岩版」  
江原 英 (とちぎ未来づくり財団縄文文化財センター調査研究課長)

「北関東の後・晩期の土器の様相」  
林 克彦 (五島美術館学芸部長)

第2部 発表者によるパネルディスカッション

日時 令和6年11月2日(土) 13:00~16:00  
会場 國學院大學栃木短期大学西3号館735教室  
定員 100人 (先着順)  
申込先 國學院大學栃木短期大学日本文化フィールド  
電話: 0282-22-5511  
E-Mail: daikuhara@kokugakuintochigi.ac.jp  
申込締切 開催前日  
主催 國學院大學栃木短期大学 協力 栃木市教育委員会  
とちぎ未来づくり財団縄文文化財センター

この行事は、令和6年度栃木県立大学地域連携活動支援事業「文化交流の拠点「栃木」の起源を縄文時代に探る」の一環として実施するものです。

学習講座「栃木の縄文文化をもっと知ろう！」

○縄文時代の文化について理解するための、考古学研究者による専門講座です。

第1講「関東地方の縄文早期の土器」中村 信博 (国史民俗学専攻准教授)

第2講「北関東の早期の土器とヒトの動き—群馬県を中心に—」文換 健太郎 (栃木市教育委員会)

日時: 令和6年10月6日(日) 13:00~16:00  
会場: さららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)  
募集人数: 30人 (先着順)

第3講「栃木の縄文時代が始まる頃」芹澤 清八 (ワン技術コンサル技術顧問)

日時: 令和6年11月9日(土) 13:00~14:30  
会場: さららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)  
募集人数: 30人 (先着順)

ワークショップ「縄文グッズを作ろう！」

○縄文時代の技術を学ぶ体験講座として、地大生が縄文小物の製作を担当するワークショップです。

◆第1回「オーブン粘土で縄文耳飾りを作る」  
講師: 角田 祥子 (栃木県立大学国際課准教授)  
日時: 令和6年10月12日(土) 13:00~16:00  
会場: さららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)  
募集人数: 30人 (先着順)

◆第2回「縄文の小物づくり」  
日時: 令和6年10月26日(土) 13:00~15:00  
会場: 國學院大學栃木短期大学考古学フィールド (新設校で開校  
記念行事) 国史民俗学専攻准教授・考古学専攻准教授  
アラバシ・マダコットシート・生ハチマキ等で縄文小物を作る  
受講者: 栃木県民有志、一般学生

◆第3回「黒曜石で石鏃を作る」  
講師: 大工原 豊 (國學院大學栃木短期大学准教授)  
日時: 令和6年11月9日(土) 15:00~16:30  
会場: さららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)  
募集人数: 30人 (先着順)

◆第4回「縄文の小物づくり」  
日時: 令和6年11月16日(土) 13:00~15:00  
会場: さららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)  
実習指導: 国史民俗学専攻准教授・考古学専攻准教授  
アラバシ・マダコットシート・生ハチマキ等で縄文小物を作る  
募集人数: 30人 (先着順)

申し込みは國學院大學栃木短期大学 日本文化学田野日本文化フィールド  
電話: 0282-22-5511 (代表) E-Mail: daikuhara@kokugakuintochigi.ac.jp  
主催: 國學院大學栃木短期大学 協力: 栃木市教育委員会

この行事は、令和6年度栃木県立大学地域連携活動支援事業「文化交流の拠点「栃木」の起源を縄文時代に探る」の一環として実施するものです。



ご静聴ありがとうございました

